

第3章

在宅介護実態調査結果

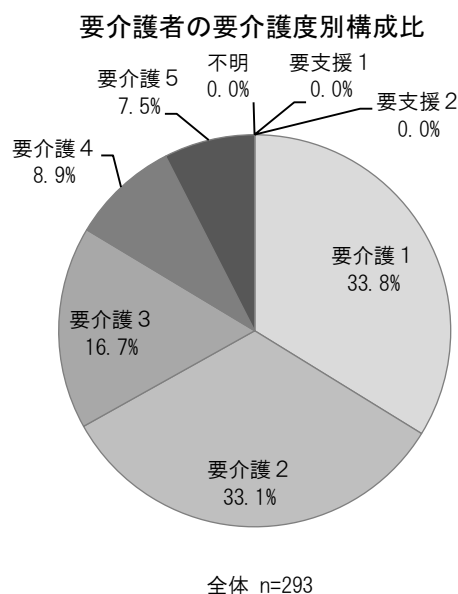
(主な家族介護者)

第3章 在宅介護実態調査結果

1 ご本人（要介護者）の状況について

(1) 要介護者の要介護度

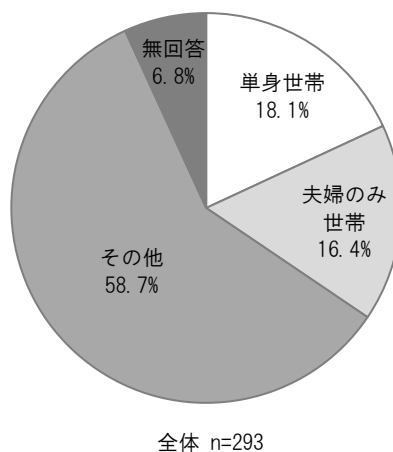
○要介護者の要介護度をみると、「要介護1」（33.8%）が最も多く、次いで「要介護2」（33.1%）、「要介護3」（16.7%）の順となっています。



(2) 要介護者の世帯状況

○要介護者に該当する世帯類型をみると、「その他」（58.7%）が最も多く、次いで「単身世帯」（18.1%）、「夫婦のみ世帯」（16.4%）となっています。

問1 該当する世帯類型

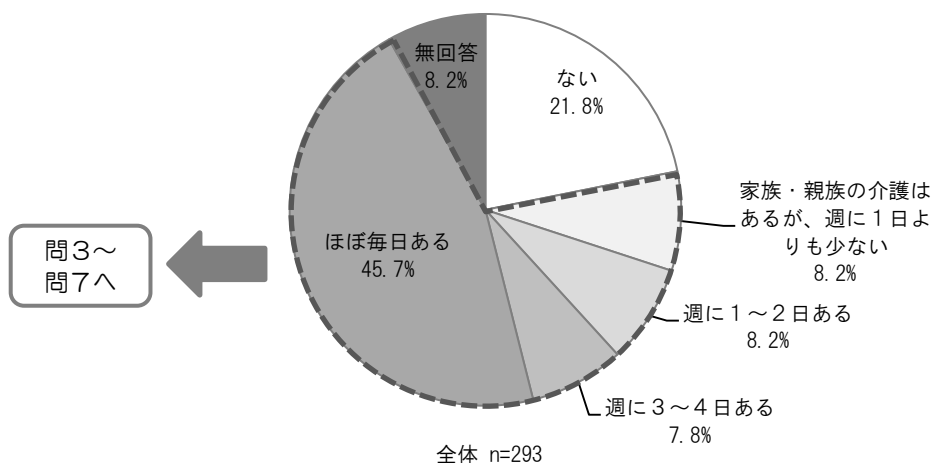


(3) 家族・親族による介護の頻度

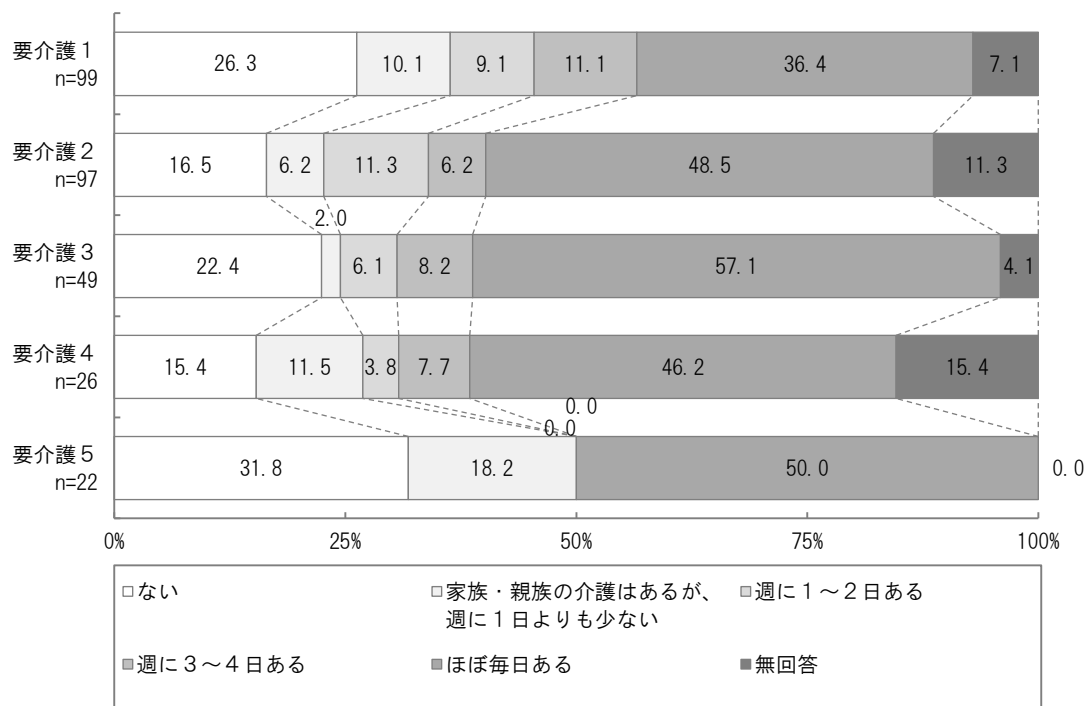
○家族・親族から介護してもらう頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(45.7%)が最も多く、次いで「ない」(21.8%)となっています。

○要介護度別にみた家族・親族による介護の頻度では全ての要介護度で「ほぼ毎日ある」(36.4~57.1%)が最も多く、次いで「ない」(15.4~31.8%)となっています。

問2 家族・親族から介護してもらう頻度

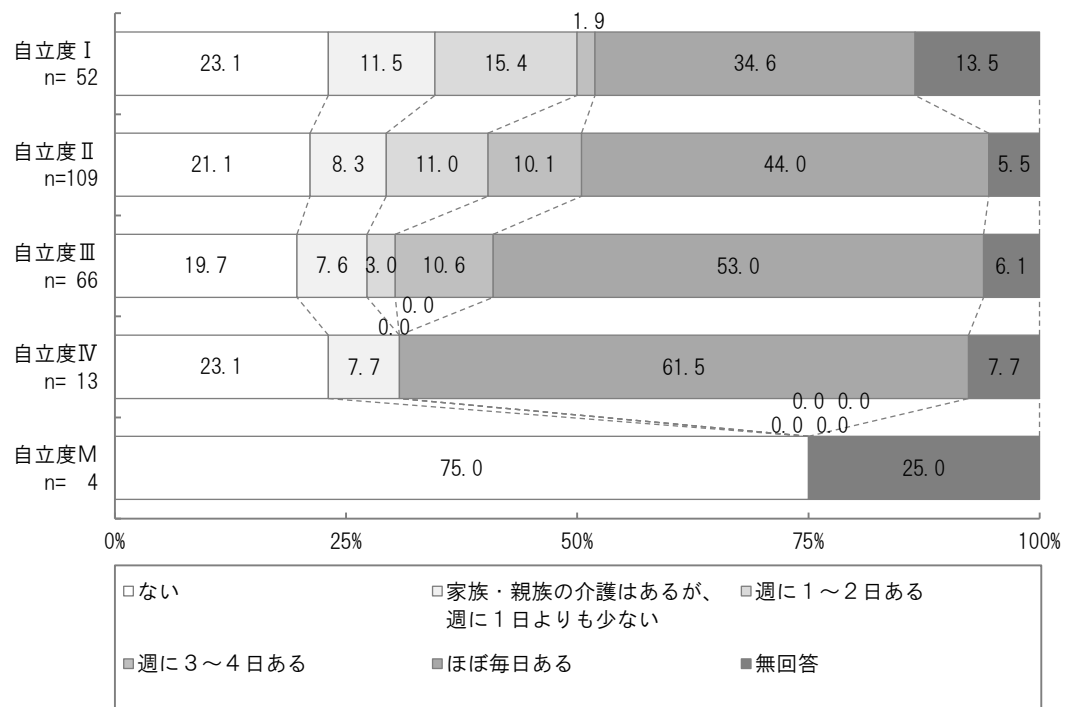


「要介護度」×「問2 家族・親族から介護してもらう頻度」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、自立度Ⅰ～Ⅳは「ほぼ毎日ある」(34.6～61.5%)、自立度Ⅴは「ない」(75.0%)が最も多く、次いで自立度Ⅰ～Ⅳは「ない」(19.7～23.1%)となっています。

「認知症高齢者日常生活自立度」×「問2 家族・親族から介護してもらう頻度」



2 主な介護者等の状況（属性等）について

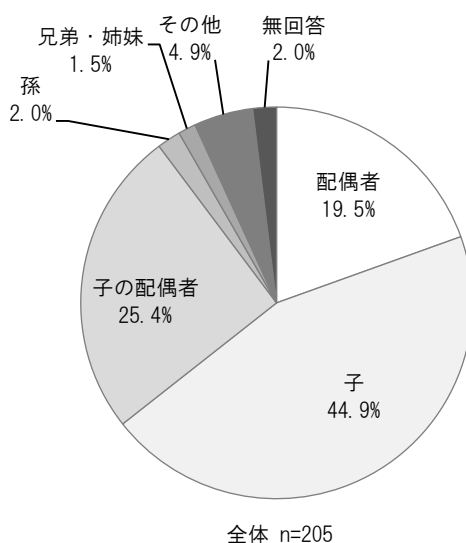
（1）主な介護者の状況

○要介護者からみた主な介護者は、「子」（44.9%）が最も多く、次いで「子の配偶者」（25.4%）、「配偶者」（19.5%）となっています。

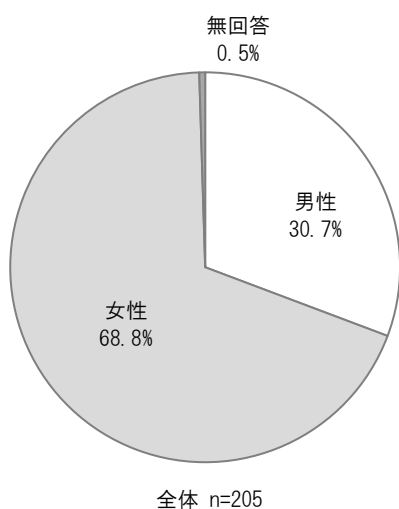
○主な介護者の性別は、女性が68.8%、男性が30.7%とは2：1の割合となっています。

○主な介護者の年齢は、「60～69歳」（42.4%）が最も多く、次いで「50～59歳」（21.0%）、「70～79歳」（15.1%）、「80歳以上」（13.2%）となっています。

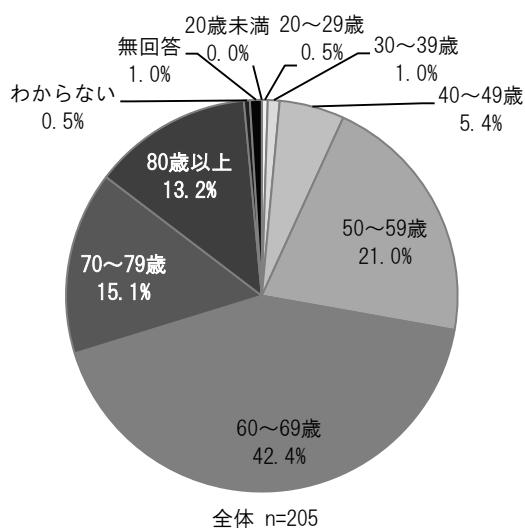
問3 要介護者からみた主な介護者



問4 主な介護者の性別



問5 主な介護者の年齢

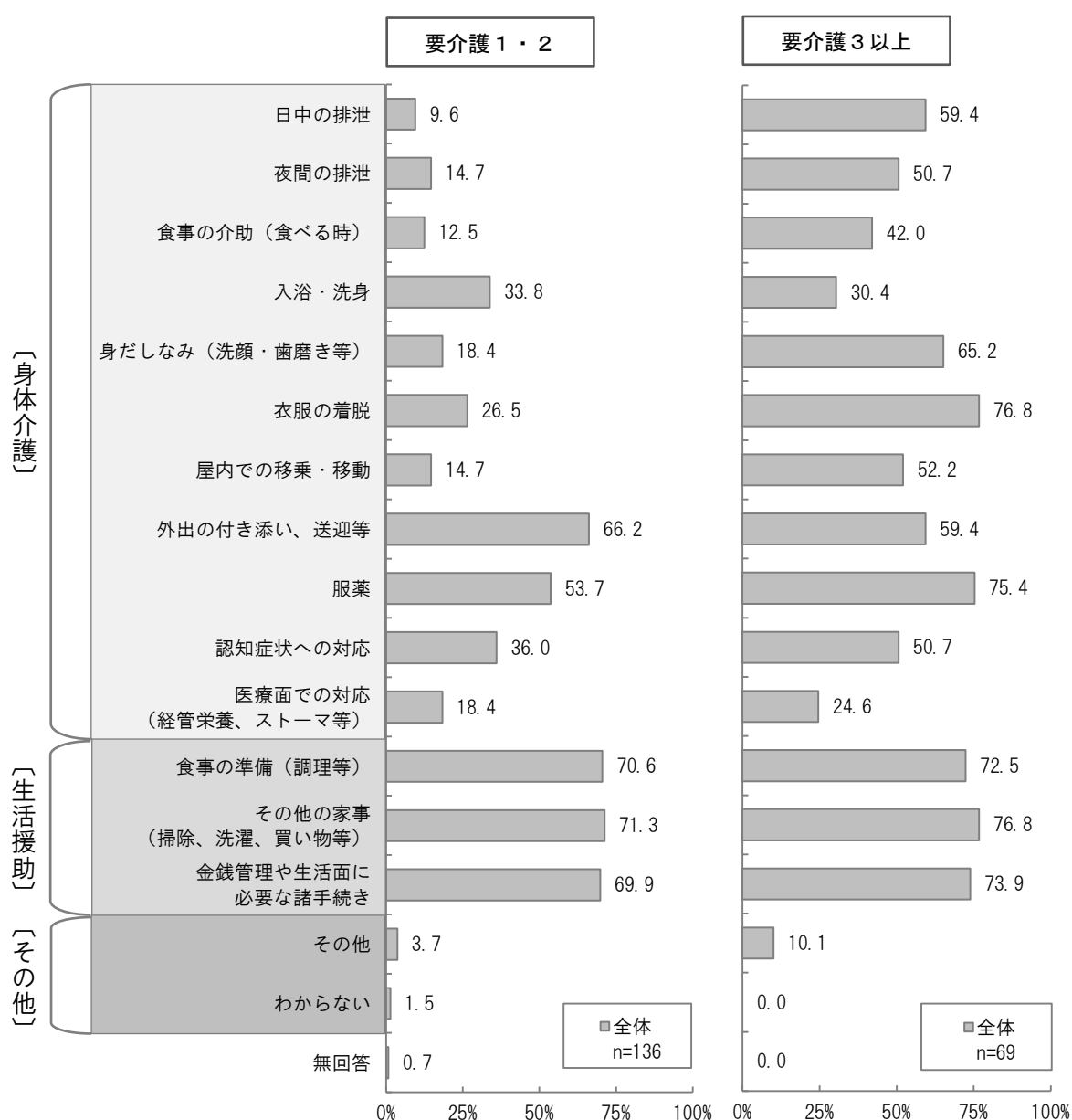


(2) 主な介護者の介護実態

○主な介護者の方が行っている介護をみると、要介護1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(66.2%)、「服薬」(53.7%)、要介護3以上の方では「衣服の着脱」(76.8%)、「服薬」(75.4%)、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」(65.2%)が多くなっています。

○要介護1・2の方の生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(71.3%)、「食事の準備(調理等)」(70.6%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(69.9%)、要介護3以上では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(76.8%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(73.9%)、「食事の準備(調理等)」(72.5%)が多くなっています。

問6 主な介護者の方が行っている介護

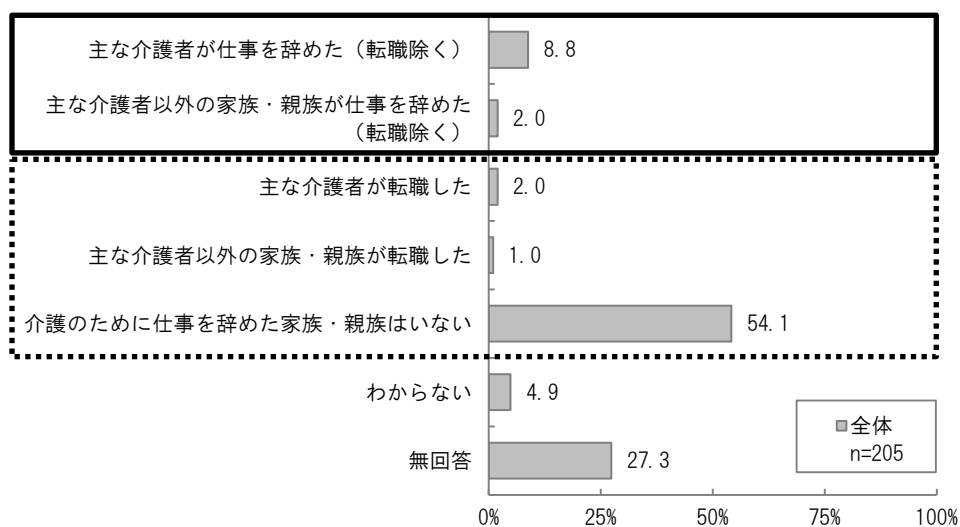


(3) 家族介護のために離職した状況

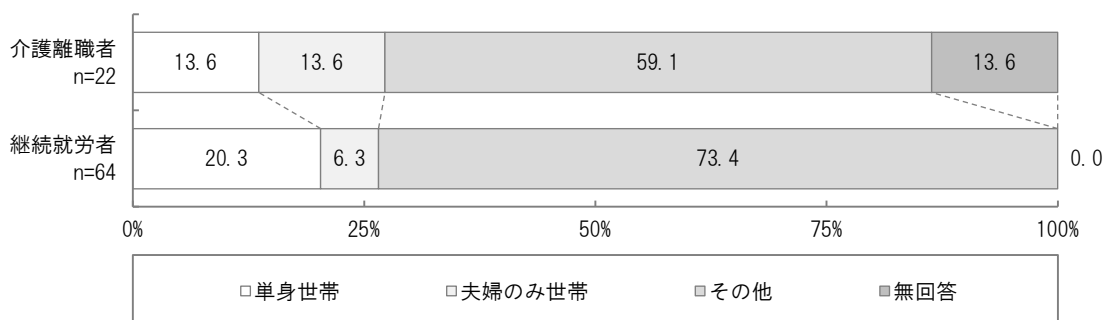
○家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（8.8%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（2.0%）と10.8%の方が離職し、また3.0%の方が転職しています。

○世帯類型では、介護離職者と継続就労者とも「その他」の世帯が59.1%・73.4%、次いで介護離職者は「単身世帯」と「夫婦のみ世帯」ともに13.6%、継続就労者は「単身世帯」が20.3%となっています。

問7 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無



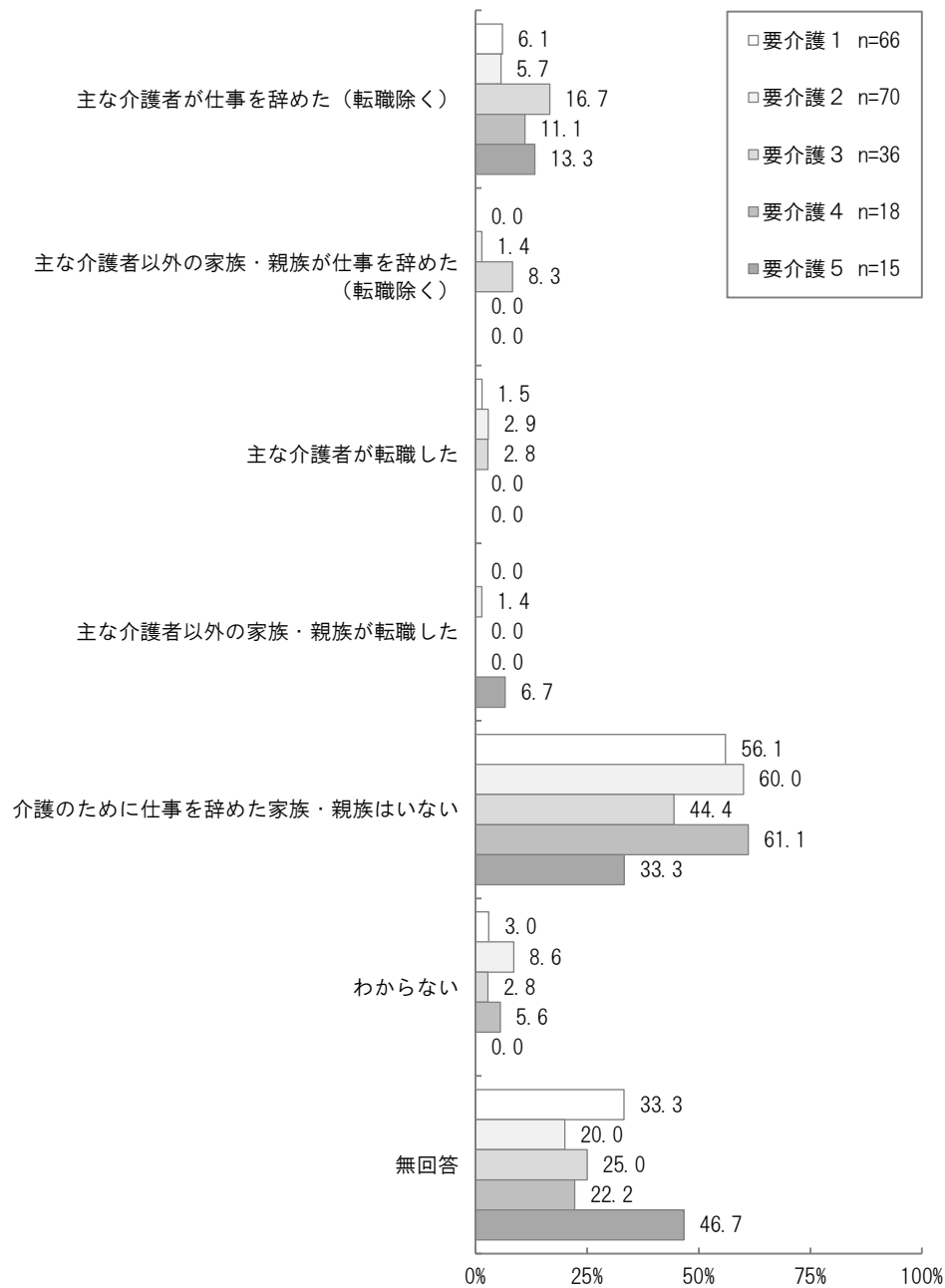
「介護離職者・継続就労者別」×「問1 該当する世帯類型」



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

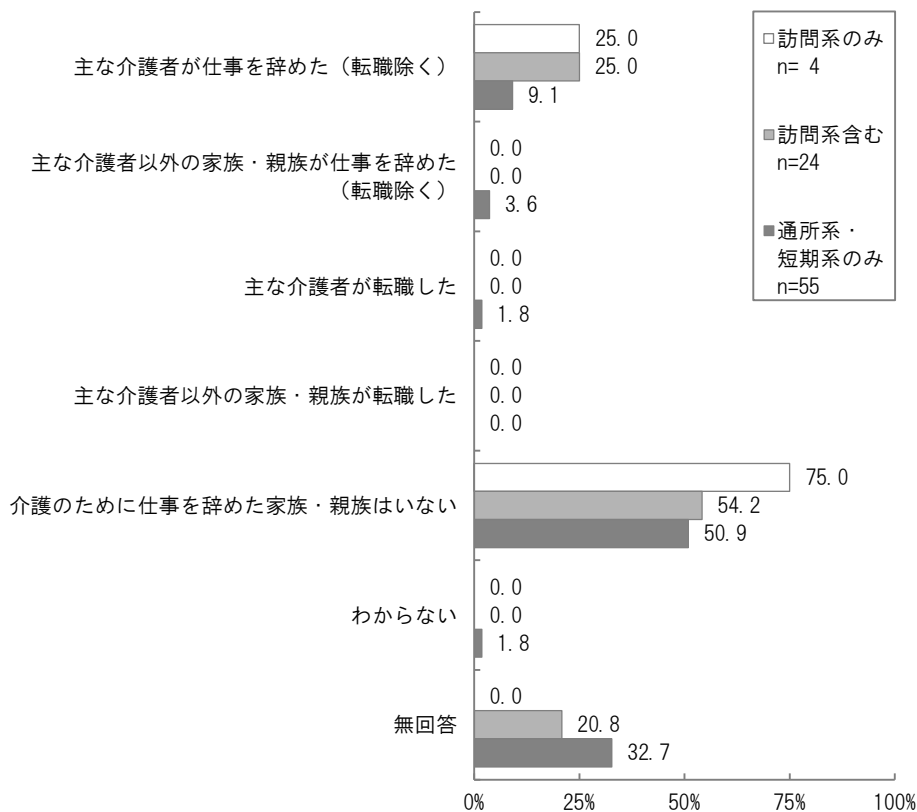
○要介護度別にみた家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、要介護1～5で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(33.3～61.1%)が最も多く、次いで要介護3～5は「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(11.1～16.7%)となっています。

「要介護度」×「問7 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無」



○サービス利用状況別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況を見ると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（75.0～50.9％）方はサービスの利用率が高く、一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（25.0～9.1％）方はサービスの利用率が低い状況です。

「サービス利用状況」×「問7 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無」

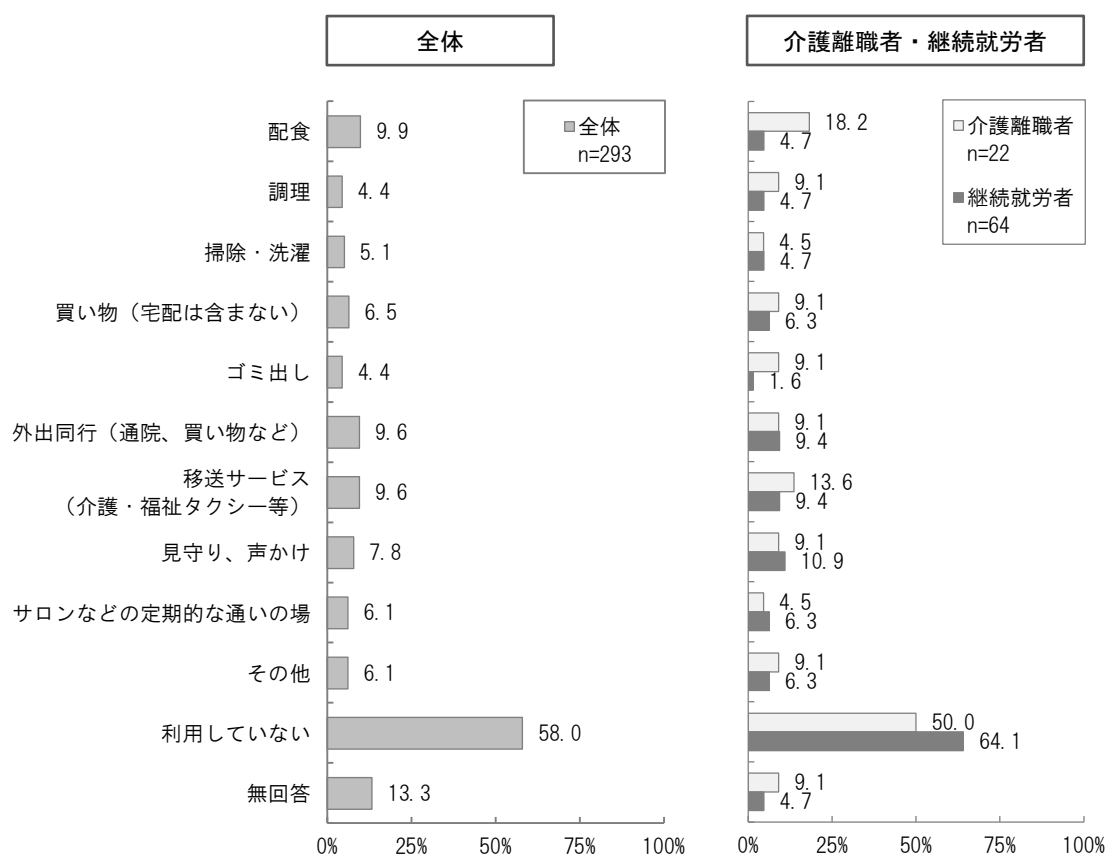


3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

(1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス

- 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「利用していない」(58.0%)が最も多く、次いで「配食」(9.9%)となっています。
- 介護離職者と継続就労者ともに「利用していない」(50.0%・64.1%)が最も多く、次いで介護離職者は「配食」(18.2%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(13.6%)、要支援者は「見守り、声かけ」(10.9%)となっています。
- 「掃除・洗濯」「外出同行(通院、買い物など)」「見守り、声かけ」「サロンなどの定期的な通いの場」「利用していない」では介護離職者に比べ継続就労者の利用意向が上回っています。

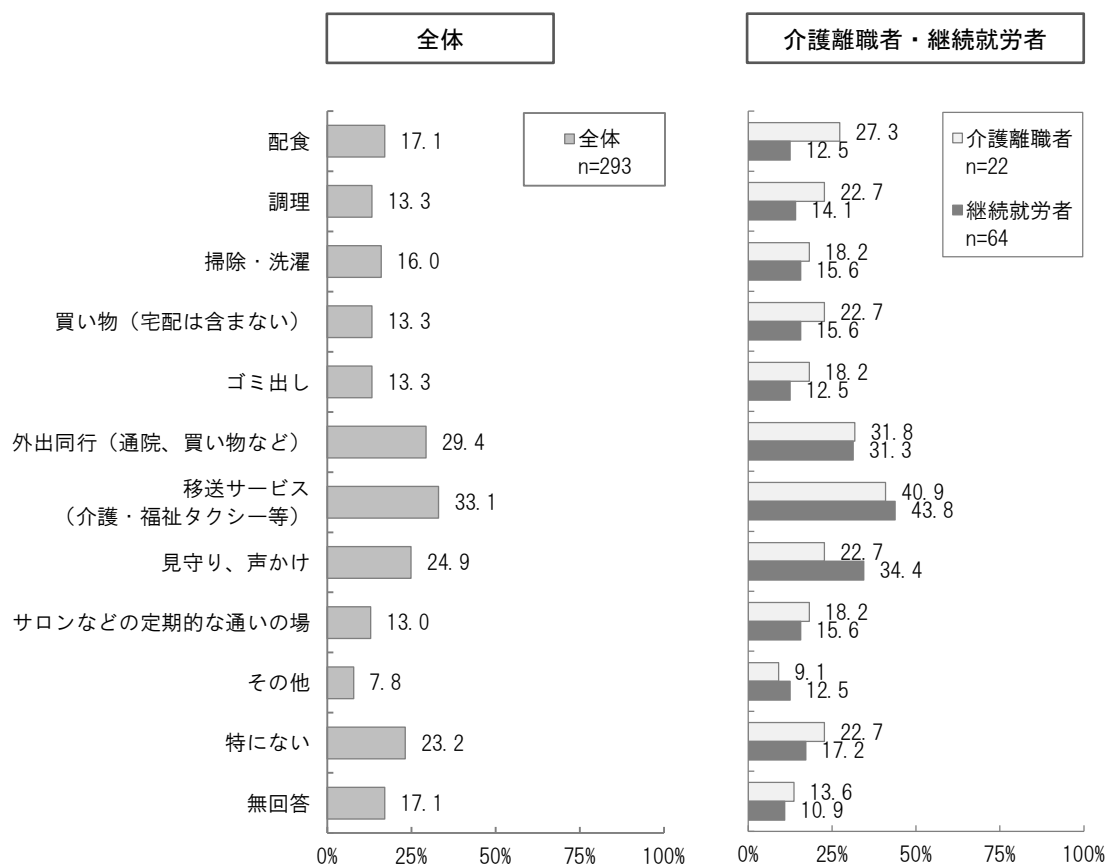
問8 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

- 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスの意向をみると、全体では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（33.1%）が最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（29.4%）、「見守り、声かけ」（24.9%）、「配食」（17.1%）、「掃除・洗濯」（16.0%）、「調理」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」（各13.3%）となっています。
- 介護離職者では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（40.9%）が最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（31.8%）、「配食」（27.3%）、「調理」「買い物（宅配は含まない）」「見守り・声かけ」（各22.7%）、「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「サロンなどの定期的な通いの場」（各18.2%）で利用意向が高くなっています。
- それに対して継続就労者では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（43.8%）が最も多く、次いで「見守り、声かけ」（34.4%）、「外出同行（通院、買い物など）」（31.3%）で利用意向が高くなっています。
- 「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」において介護離職者に比べ継続就労者の利用意向が上回っています。

問 9 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

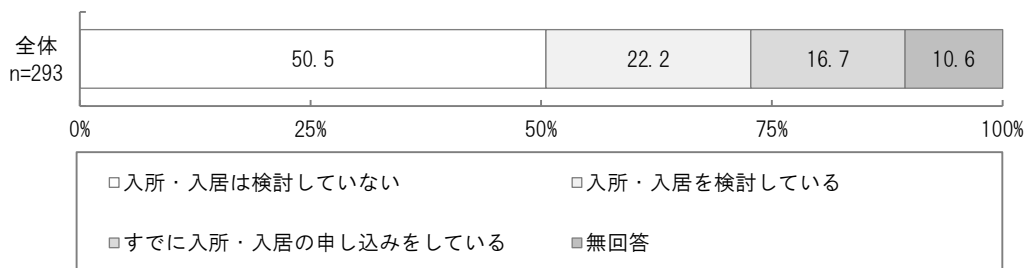


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

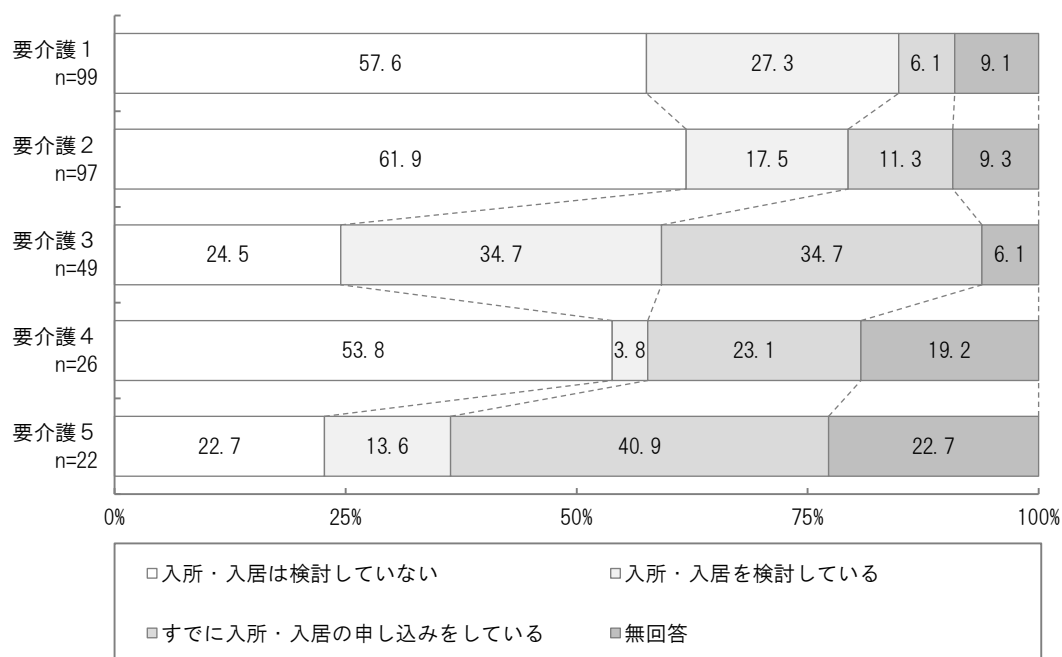
○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、全体では「入所・入居は検討していない」(50.5%)が最も多く、次いで「入所・入居を検討している」(22.2%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(16.7%)となっています。

○要介護度別の検討状況では、要介護3以上で「入所・入居を検討している」(3.8~34.7%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(23.1~40.9%)と合わせて約3~7割の方が入所・入居予定または検討中となっています。

問 10 施設等への入所・入居を検討しているか



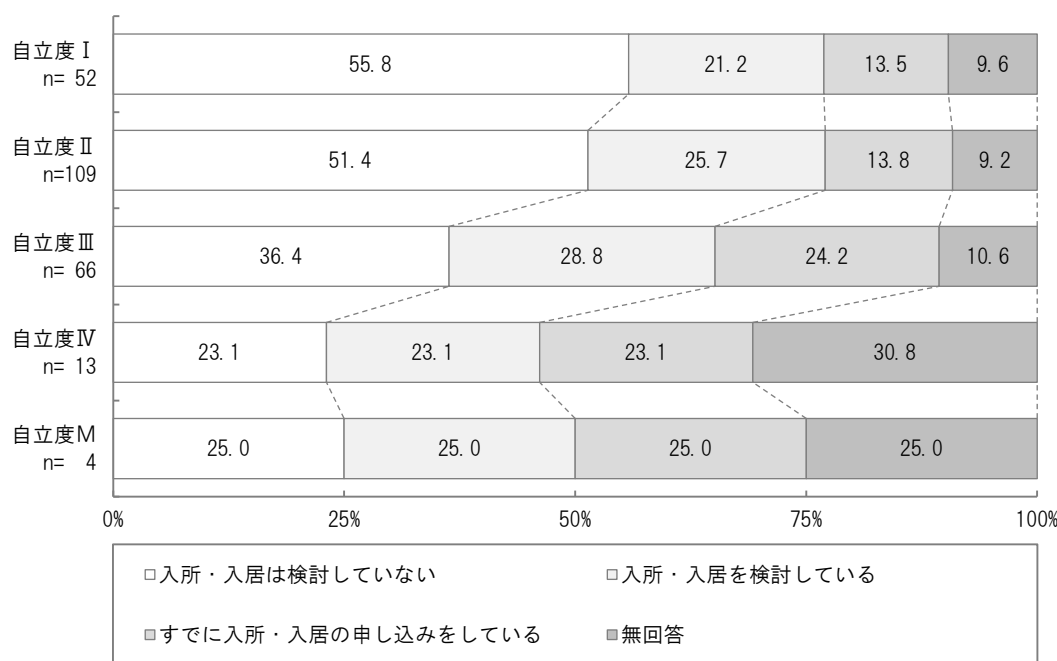
「要介護度」×「問 10 施設等への入所・入居に関する検討」



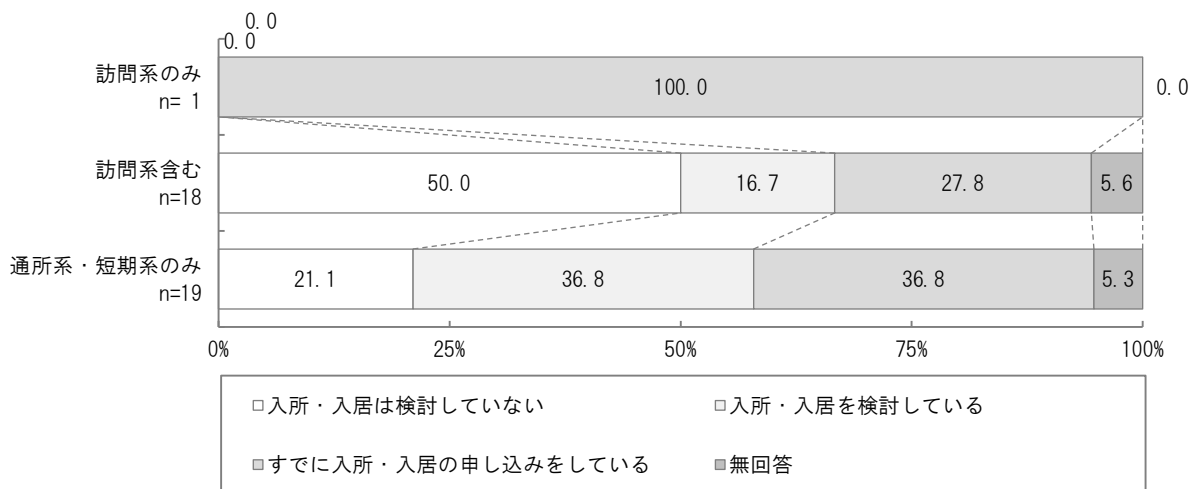
○認知症高齢者日常生活自立度別に施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、自立度Ⅰ～Ⅲは「入所・入居は検討していない」(55.8～36.4%)が最も多くなっています。また、自立度Ⅳ・Ⅴはそれぞれの項目で差がない状況となっています。

○サービス利用別にみた施設等への入所・入居の検討状況をみると、訪問系のみでは「すでに入所・入居の申し込みをしている」(100.0%)、訪問系含むでは「入所・入居を検討している」(16.7%)と「すでに入所・入居の申し込みをしている」(27.8%)を合わせて約4割、通所系・短期系のみでは「入所・入居を検討している」(36.8%)と「すでに入所・入居の申し込みをしている」(36.8%)を合わせて約7割の方が入所・入居予定または検討中となっています。

「認知症高齢者日常生活自立度」×「問10 施設等への入所・入居に関する検討」



「サービス利用状況」×「問10 施設等への入所・入居に関する検討」(要介護度3以上)

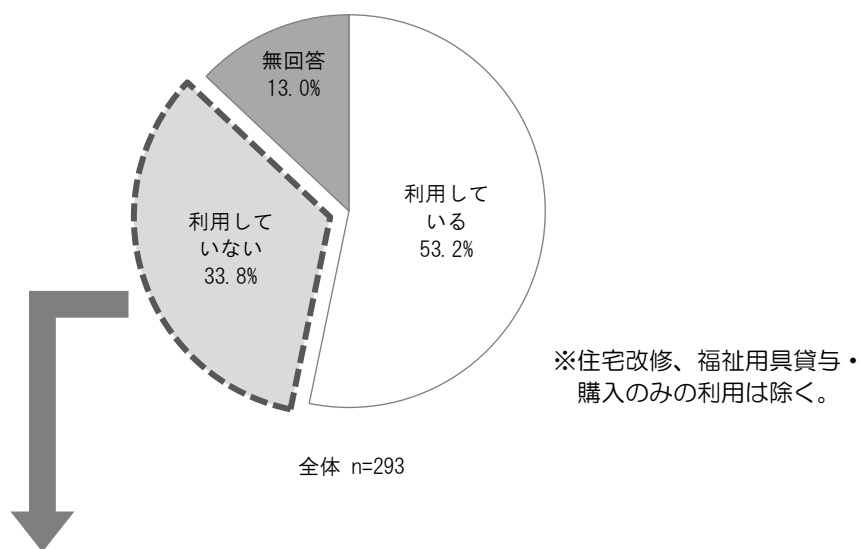


(2) 介護保険サービスの利用状況

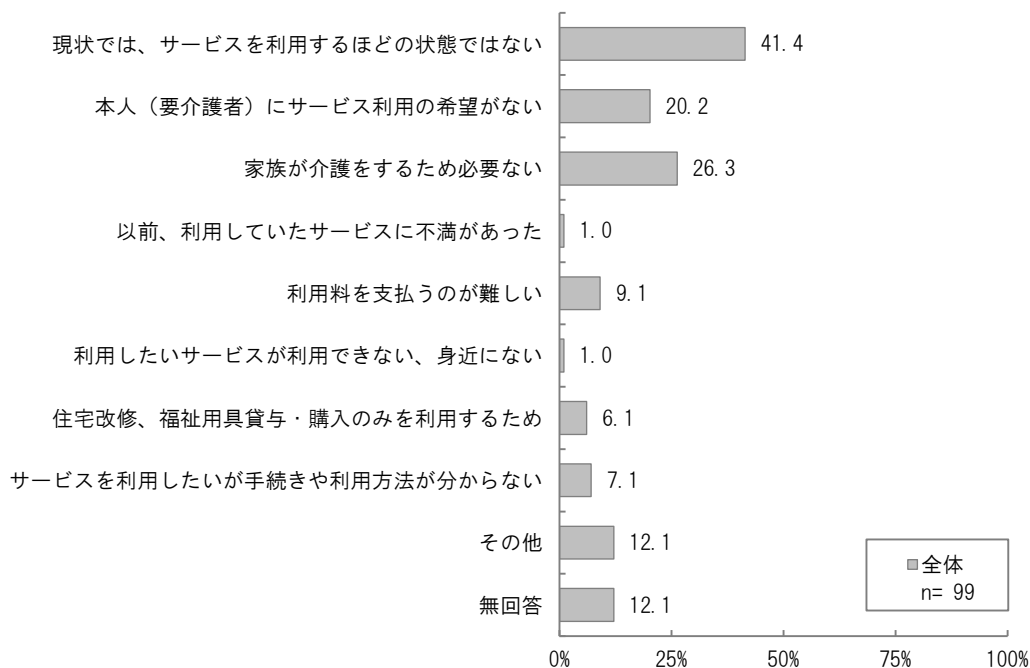
○介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」は53.2%、「利用していない」は33.8%となっています。

○介護保険サービスを利用していない理由としては「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(41.4%)が最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(26.3%)、「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」(20.2%)となっています。

問 13 介護保険サービスの利用状況



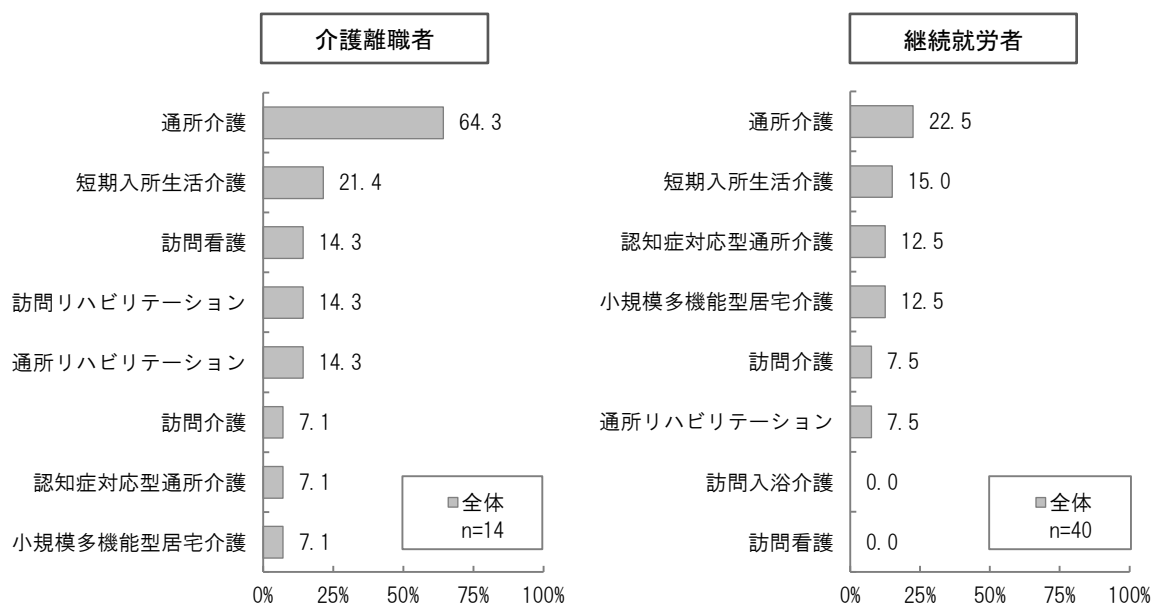
問 13-1 介護保険サービスを利用していない理由



○介護離職者の介護保険サービス利用者では「通所介護」(64.3%)が最も多く、次いで「短期入所生活介護」(21.4%)、「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション」(各14.3%)、「訪問介護」「認知症対応型通所介護」「小規模多機能型居宅介護」(各7.1%)となっています。

○継続就労者は「通所介護」(22.5%)が最も多く、次いで「短期入所生活介護」(15.0%)、「認知症対応型通所介護」「小規模多機能型居宅介護」(各12.5%)、「訪問介護」「通所リハビリテーション」(各7.5%)となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「介護保険サービス利用状況(上位8位)」

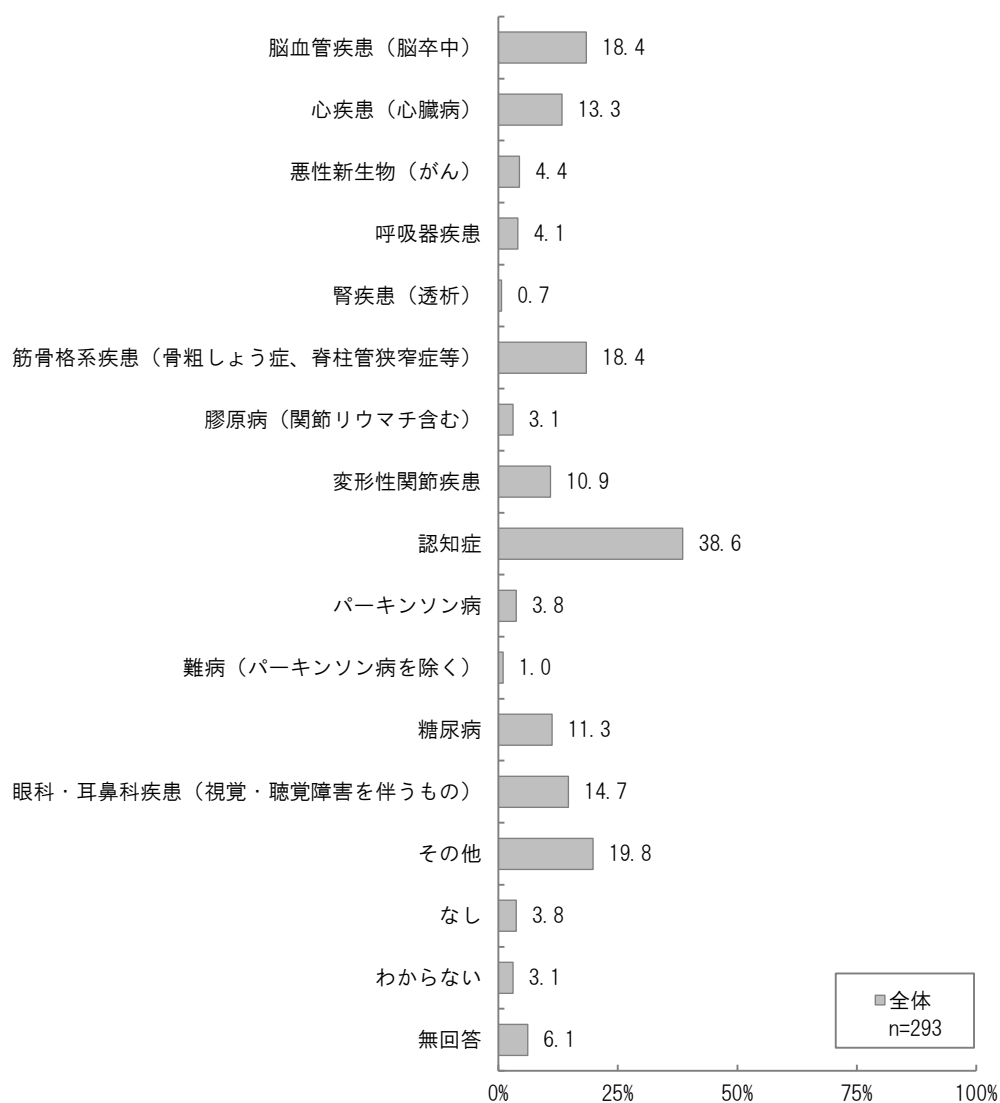


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

(3) 訪問診療の利用状況

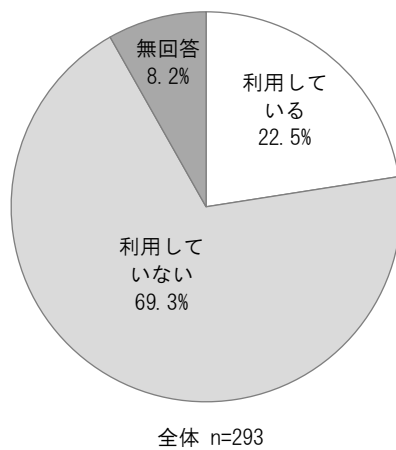
○要介護者が現在抱えている傷病名をみると、「認知症」(38.6%)が最も多く、次いで「脳血管疾患(脳卒中)」「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」「(各18.4%)」、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」「(14.7%)」、「心疾患(心臓病)」「(13.3%)」、「糖尿病」(11.3%)、「変形性関節疾患」(10.9%)となっています。

問11 要介護者が現在抱えている傷病名



○訪問診療の利用状況を見ると、「利用している」方は22.5%となっています。

問 12 訪問診療の利用の有無

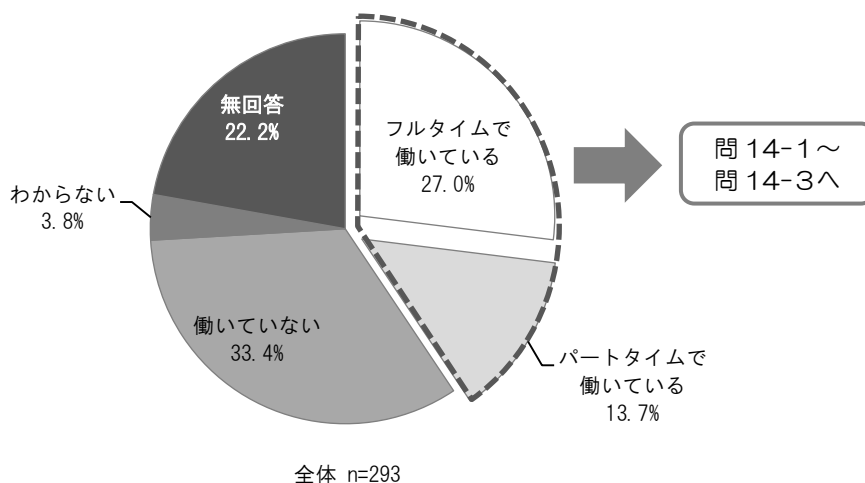


4 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態は「フルタイムで働いている」(27.0%)、「パートタイムで働いている」(13.7%)を合わせた40.7%の方が就労し、「働いていない」方は33.4%となっています。

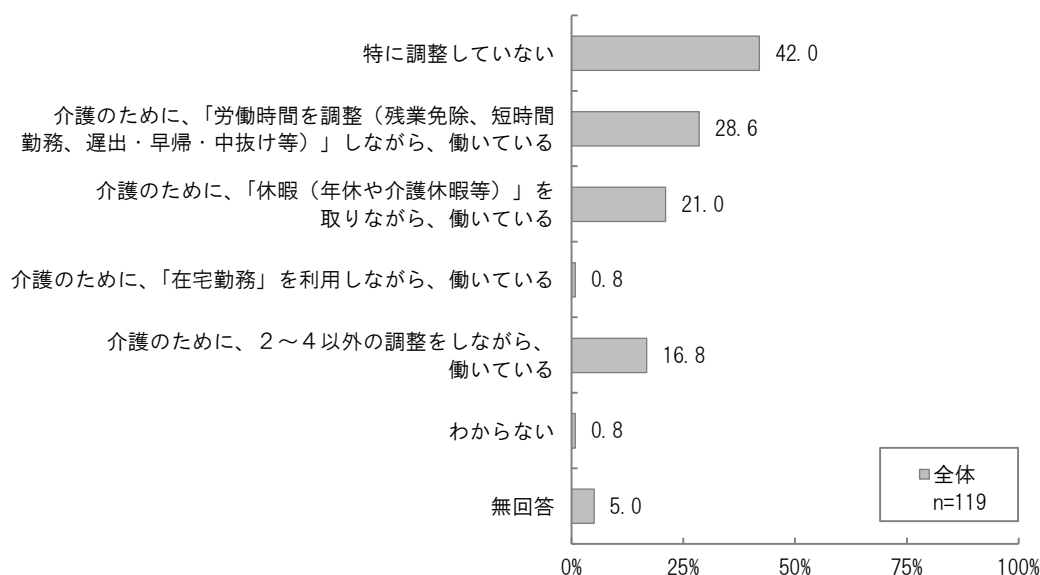
問 14 主な介護者の現在の勤務形態



(2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向

○介護のために働き方を調整しているかをみると、「特に調整していない」(42.0%)が最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」(28.6%)、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」(21.0%)、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」(16.8%)となっています。

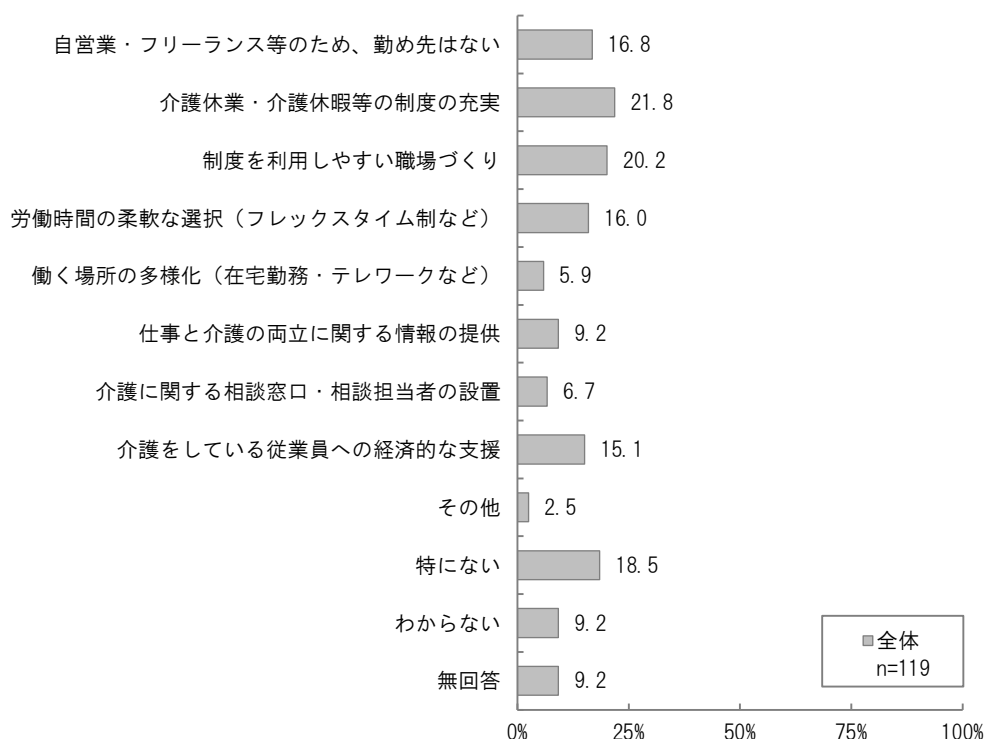
問 14-1 働き方を調整しているか



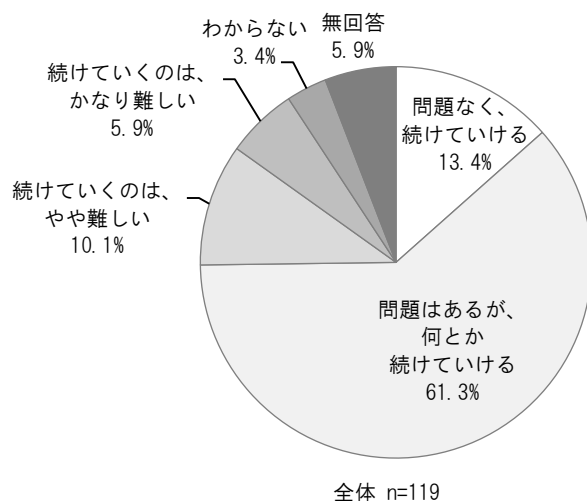
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(21.8%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(20.2%)、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(16.8%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(16.0%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(15.1%)が10%を超えています。また「特にない」は18.5%となっています。

○今後も働きながら介護を続けていけそうかに対しては「問題はあるが、何とか続けていける」(61.3%)が最も多く、次いで「問題なく、続けていける」(13.4%)となり、「続けていくのは、やや難しい」(10.1%)と「続けていくのは、かなり難しい」(5.9%)を合わせた16.0%の方が今後の継続は困難と回答しています。

問 14-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



問 14-3 今後も働きながら介護を続けていけそうか



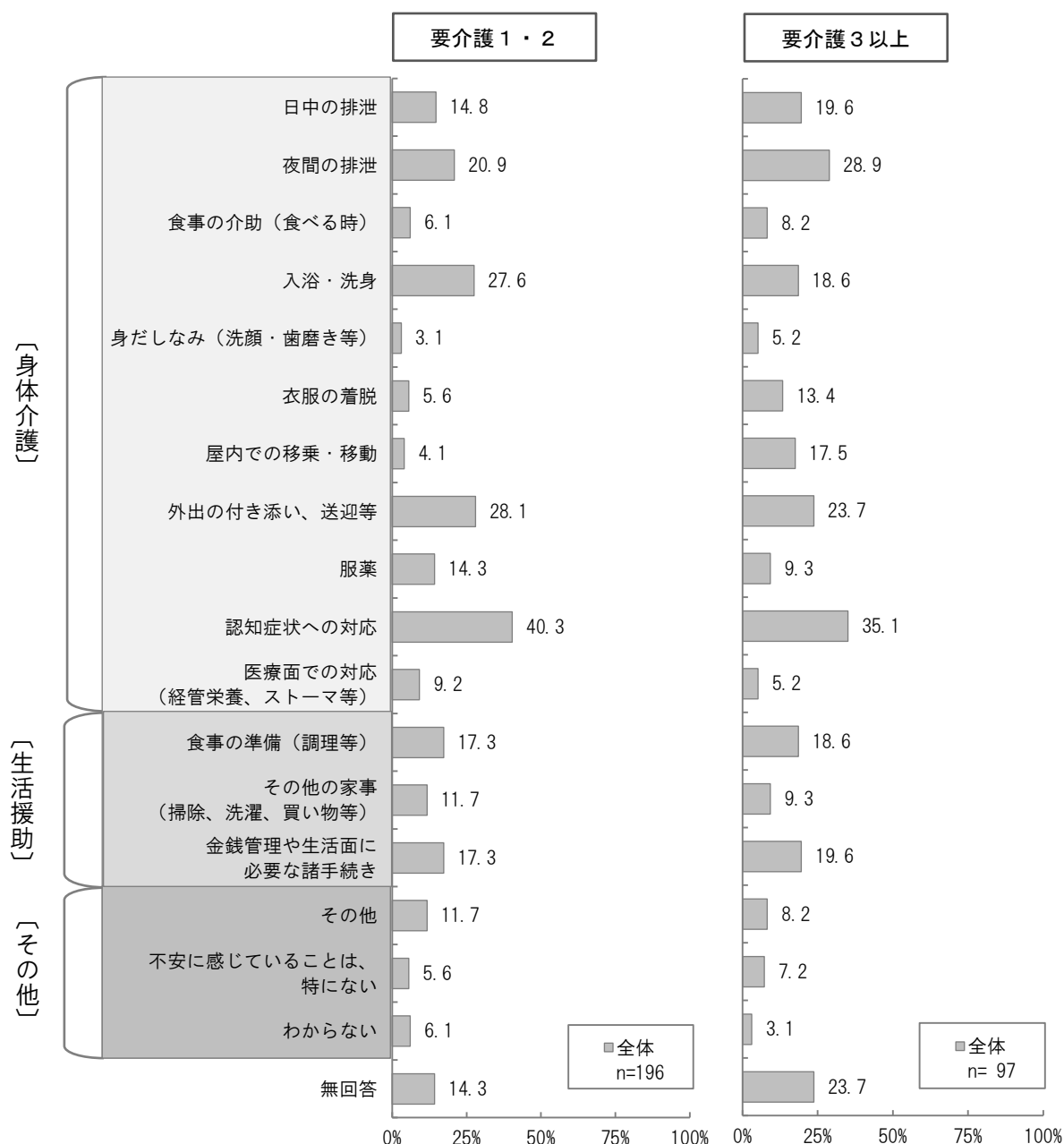
5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

(1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容

○主な介護者が不安に感じる介護内容をみると、要介護1・2の方の身体介護では「認知症状への対応」(40.3%)、「外出の付き添い、送迎等」(28.1%)、「入浴・洗身」(27.6%)、「夜間の排泄」(20.9%)、要介護3以上の方では「認知症状への対応」(35.1%)、「夜間の排泄」(28.9%)、「外出の付き添い、送迎等」(23.7%)で20%を超えています。

○生活援助では要介護1・2の方が「食事の準備(調理等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(各17.3%)、要介護3以上の方が「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(19.6%)、「食事の準備(調理等)」(18.6%)に不安を感じています。

問 15 主な介護者が不安に感じる介護



6 介護離職の要因について

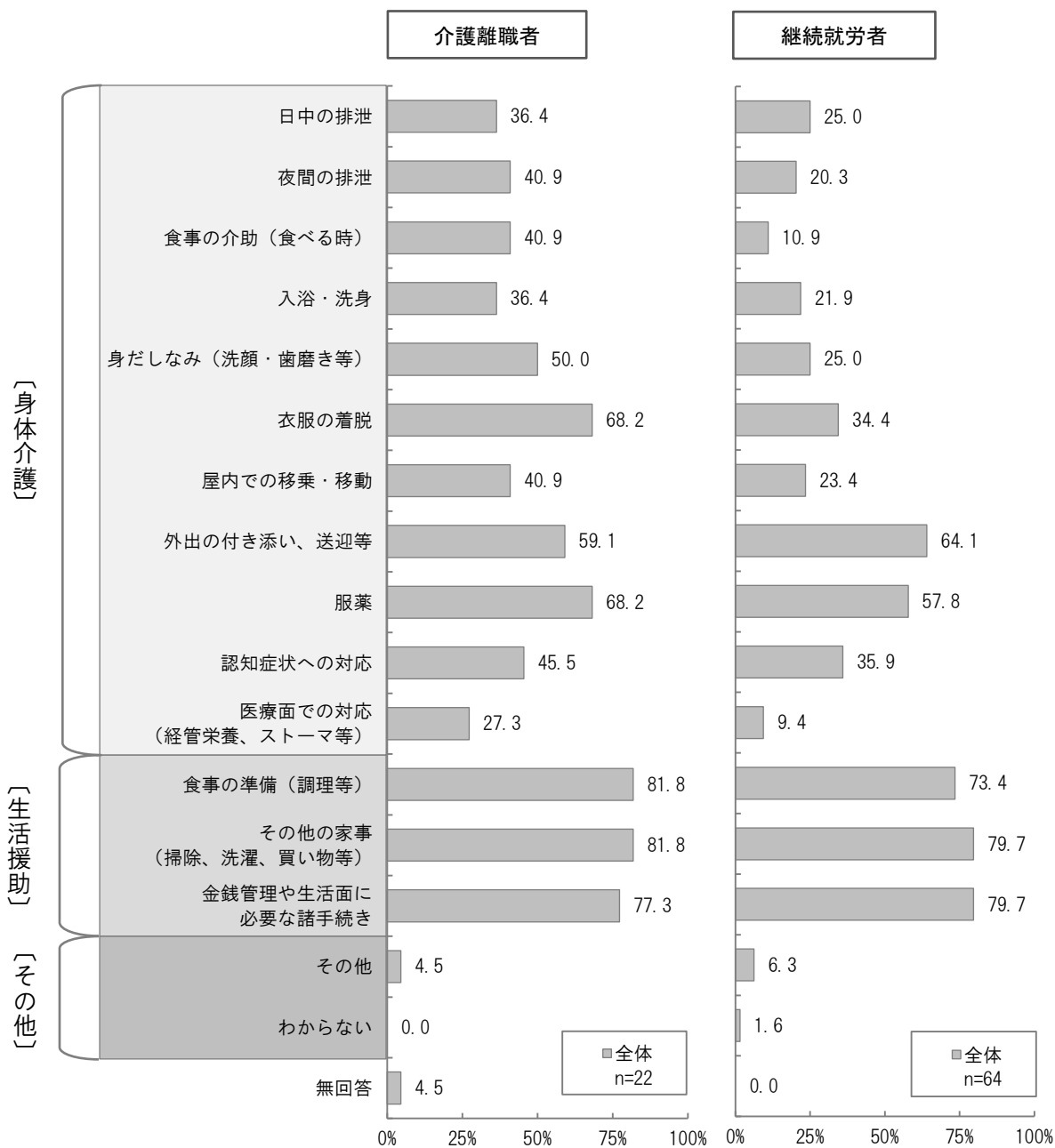
主な介護者の介護離職に関する要因を調べるために、①主な介護者の介護環境、②主な介護者の就労環境、③要介護者の様態と介護実態、④介護給付サービス等の利用状況等について介護離職者と就労者との差異を比較検討しました。

(1) 主な介護者を取り巻く介護環境等

① 介護者が行っている介護の内容

- 身体介護では、介護離職者が「衣服の着脱」「服薬」(各68.2%)、「外出の付き添い、送迎等」(59.1%)、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」(50.0%)、「認知症状への対応」(45.5%)、「夜間の排泄」「食事の介助(食べる時)」「屋内での移乗・移動」(各40.9%)、継続就労者は「外出の付き添い、送迎等」(64.1%)、「服薬」(57.8%)で高くなっています。
- 生活援助では、介護離職者が「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(各81.8%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(77.3%)、継続就労者は「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(各79.7%)、「食事の準備(調理等)」(73.4%)で高くなっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「問6 主な介護者の方が行っている介護」

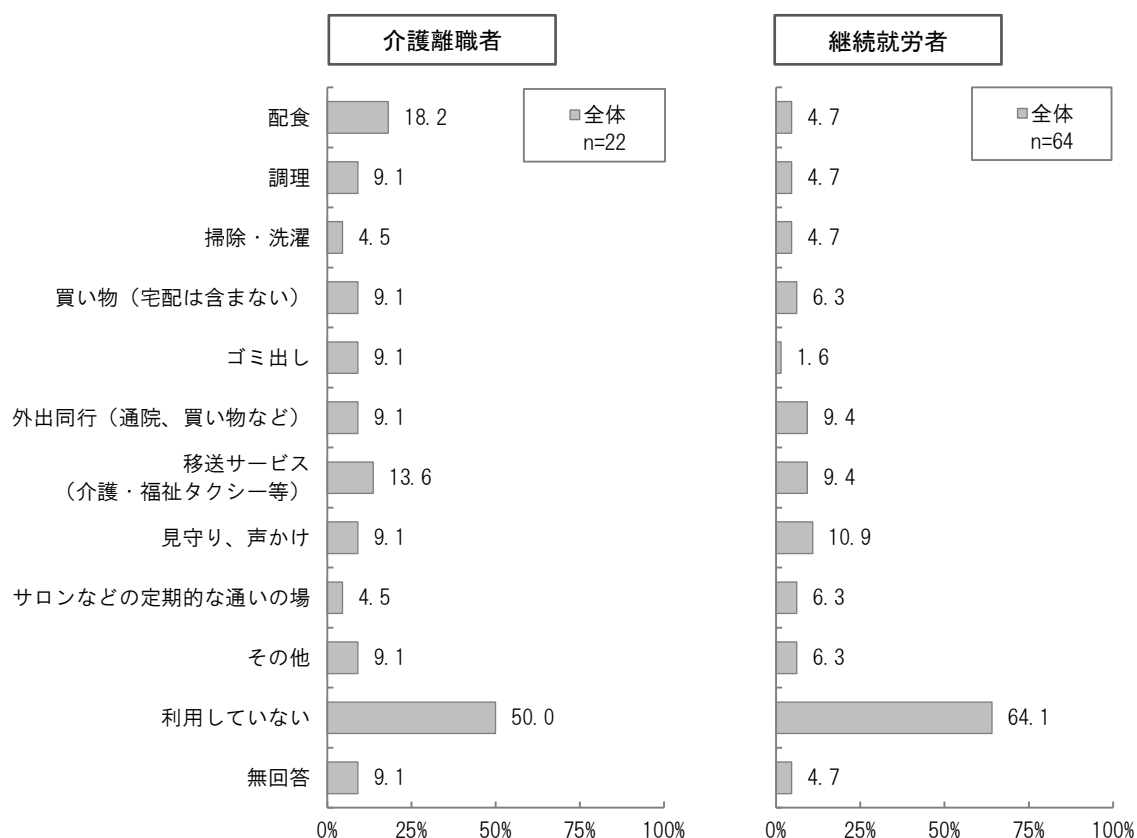


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

② 要介護者が利用している介護給付サービス以外の支援・サービス

○介護離職者と継続就労者ともに「利用していない」(50.0%・64.1%)が最も多く、次いで介護離職者は「配食」(18.2%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(13.6%)、継続就労者は「見守り、声かけ」(10.9%)となっています。

「介護離職者・継続就労者別」
×
「問8 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況」(再掲)

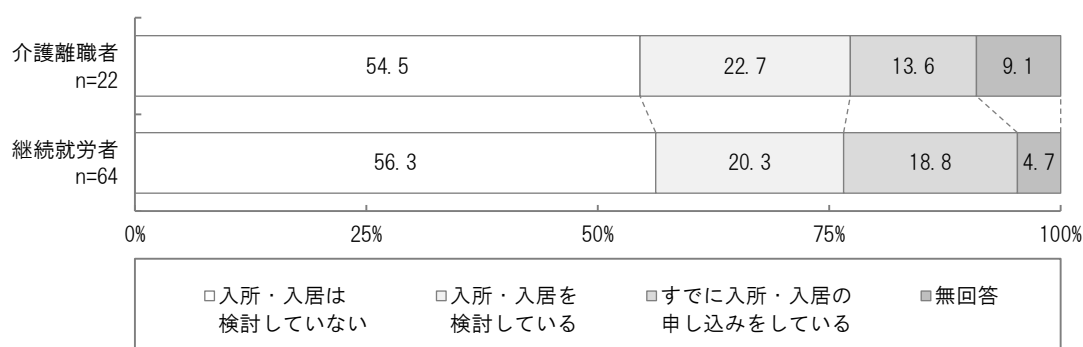


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、
②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

③ 施設等への入所・入居の検討

○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、介護離職者と継続就労者ともに「入所・入居は検討していない」(54.5%・56.3%)が最も多く、次いで「入所・入居を検討している」(22.7%・20.3%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(13.6%・18.8%)となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「問10 施設等への入所・入居を検討しているか」



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

(2) 就業中の主な介護者に関する就労環境

ここでは、就労している主な介護者を介護のために転職をした介護転職者と継続就労者に細分化し、比較検討しています。

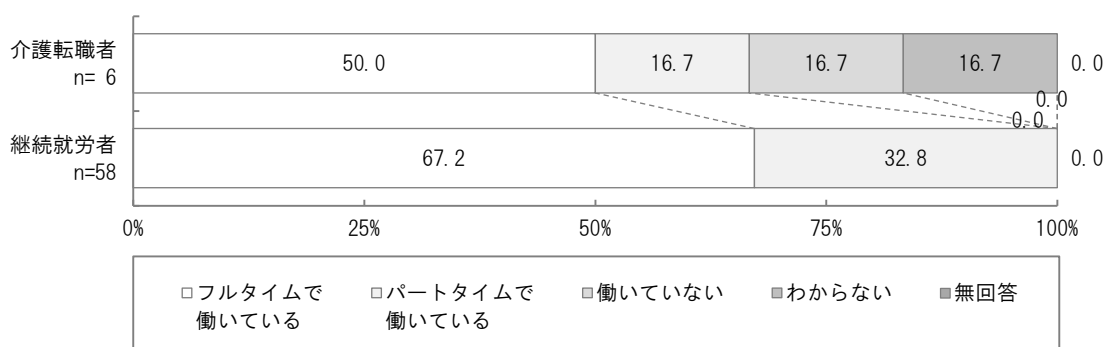
① 現在の勤務形態

○介護転職者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が50.0%、「パートタイムで働いている」「働いていない」がともに16.7%となっています。

○一方、継続就労者では、「フルタイムで働いている」が67.2%、「パートタイムで働いている」が32.8%となっています。

○介護転職者と継続就労者との差をみると、「フルタイムで働いている」では介護離職者が継続就労者を17.2^{ポイント}下回っています。

「介護転職者・継続就労者別」×「問14 主な介護者の現在の勤務形態」



※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

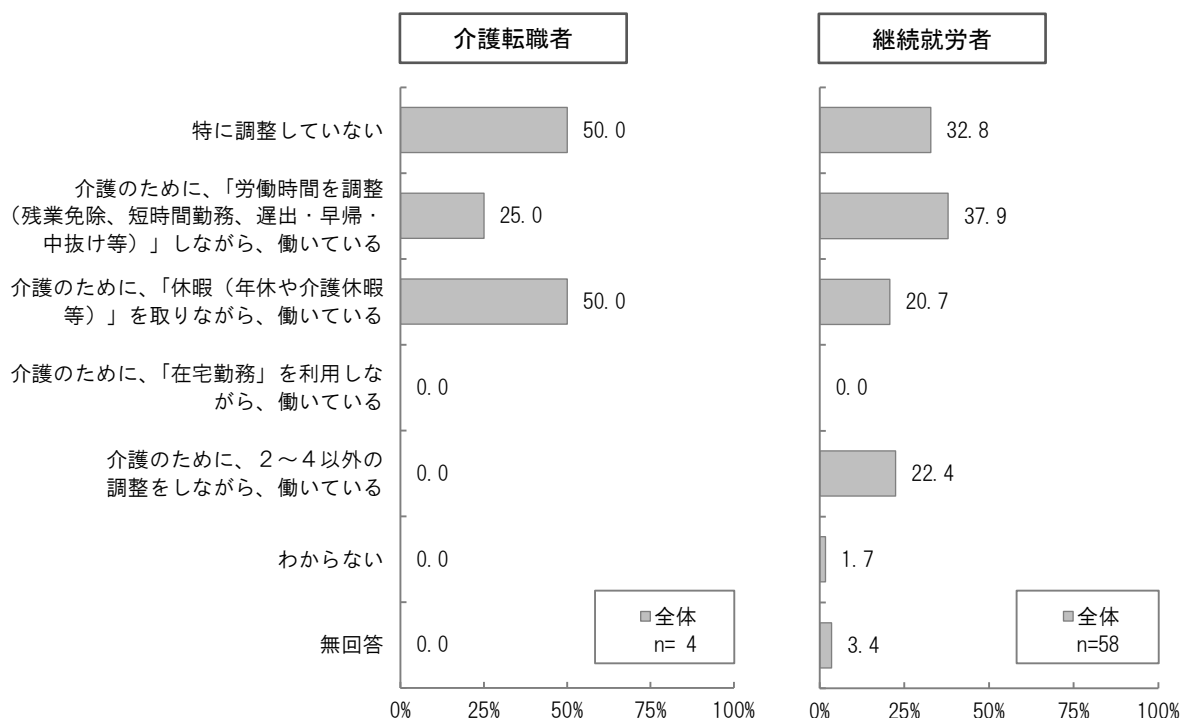
② 介護のために働き方の調整等

○介護転職者が介護のために働き方を調整しているかをみると、「特に調整していない」「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」（各50.0%）が最も多く、次いで「介護のために、『労働時間』を調整しながら、働いている」（25.0%）となっています。

○一方、継続就労者では「介護のために、『労働時間』を調整しながら、働いている」（37.9%）が最も多く、次いで「特に調整していない」（32.8%）、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」（22.4%）「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」（20.7%）となっています。

○介護転職者と継続就労者との差をみると、「介護のために、『労働時間』を調整しながら、働いている」では介護転職者が継続就労者を12.9^{ポイント}上回っています。

「介護転職者・継続就労者別」×「問 14-1 働き方を調整しているか」

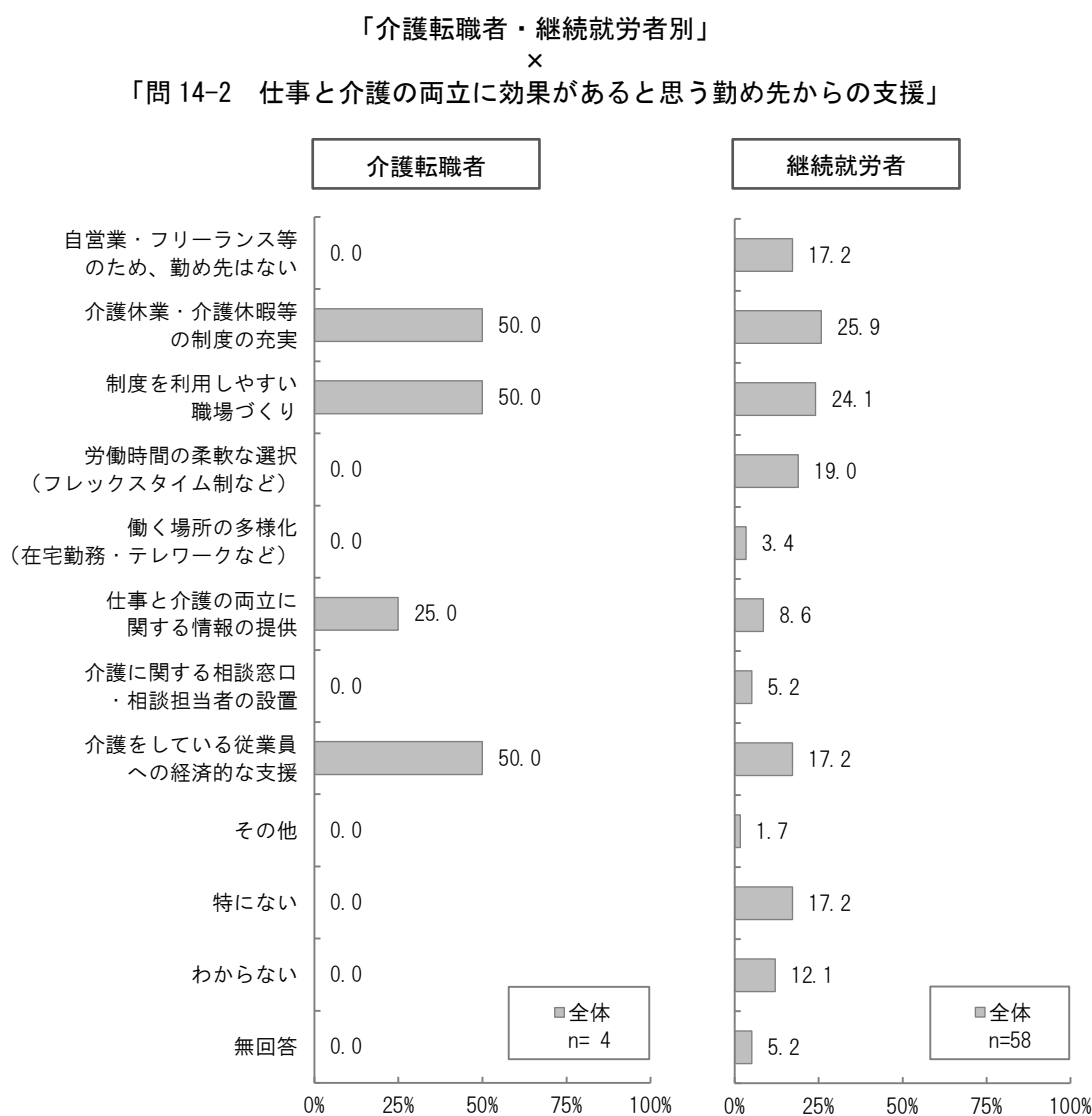


※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

③ 仕事と介護の両立に効果的な職場の支援内容

○介護転職者が仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援についてみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「介護をしている従業員への経済的な支援」（各50.0%）、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」（25.0%）となっています。

○継続就労者が仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援についてみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（25.9%）が最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」（24.1%）、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（19.0%）、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「介護をしている従業員への経済的な支援」（各17.2%）となっています。



※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問 14 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

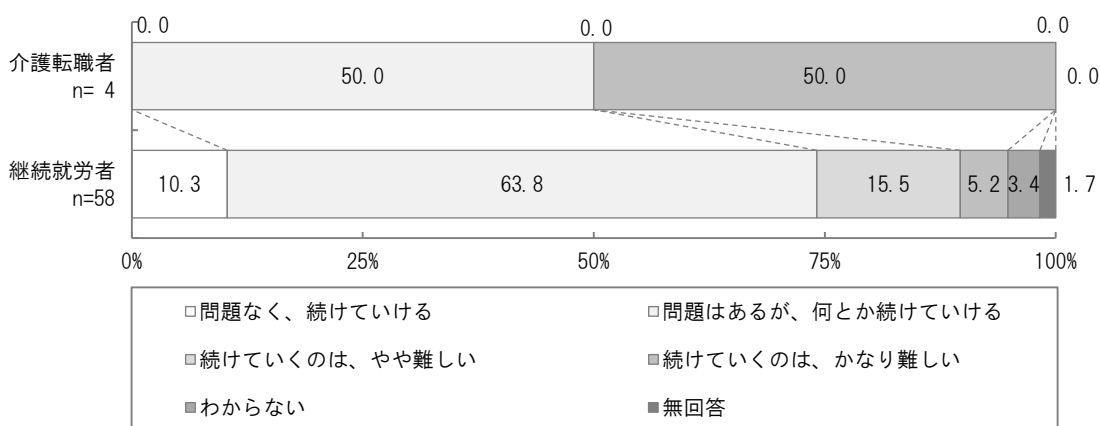
④ 仕事と介護の両立に関して継続する意向

○介護転職者における今後の就労継続に関する意向をみると、「問題はあるが、何とか続けていける」「続けていくのは、かなり難しい」がともに50.0%となっています。

○一方、継続就労者では「問題はあるが、何とか続けていける」(63.8%)が最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」(15.5%)、「問題なく、続けていける」(10.3%)となっています。

○介護転職者と継続就労者との差をみると、「続けていくのは、かなり難しい」では介護転職者が継続就労者を44.8ポイント上回っています。

「介護転職者・継続就労者別」×「問 14-3 今後も働きながら介護を続けていけそうか」



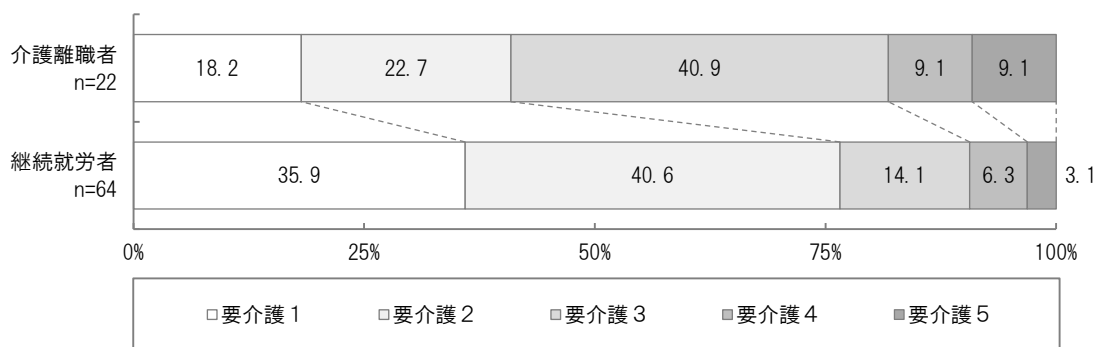
※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

(3) 要介護者の様態と介護実態

○介護離職者が介護している方の要介護度をみると、「要介護3」(40.9%)が最も多く、次いで「要介護2」(22.7%)、「要介護1」(18.2%)となっています。

○継続就労者では、「要介護2」(40.6%)と「要介護1」(35.9%)で大差はなく、次いで「要介護3」(14.1%)となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×要介護者の「要介護度」



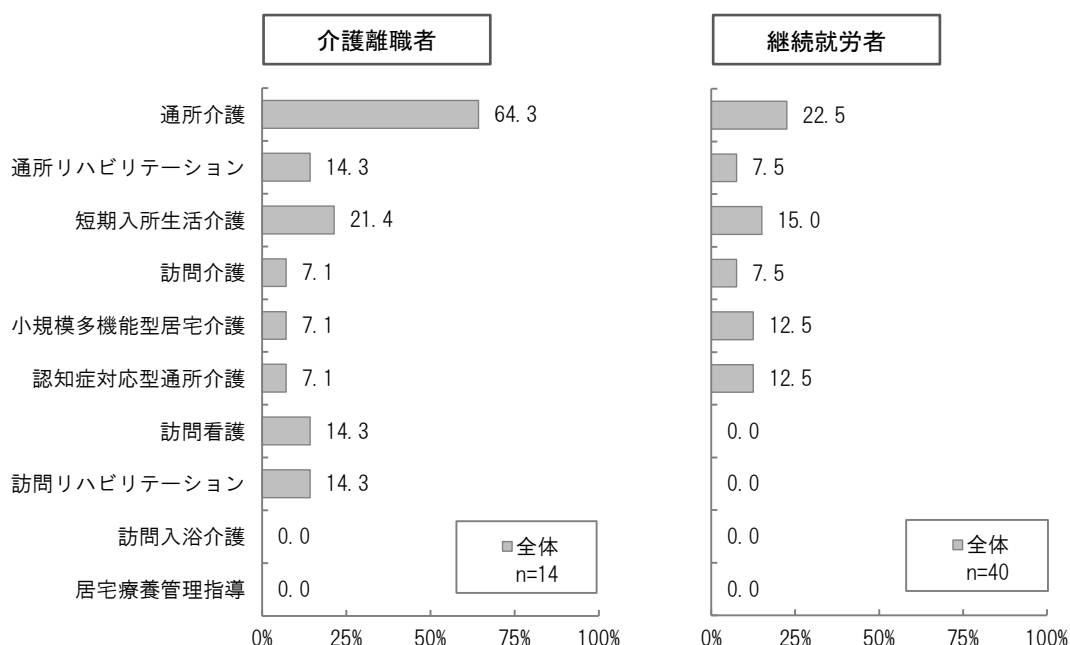
※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

(4) 介護給付サービス等の利用状況

① 介護給付サービスの利用状況

- 介護離職者の介護給付サービスの利用状況（介護保険サービス利用上位10位）をみると、「通所介護」（64.3%）が最も多く、次いで「短期入所生活介護」（21.4%）、「通所リハビリテーション」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」（各14.3%）となっています。
- 一方、継続就労者では「通所介護」（22.5%）が最も多く、次いで「短期入所生活介護」（15.0%）、「小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型通所介護」（各12.5%）となっています。
- 介護離職者と継続就労者の差をみると、介護離職者の利用割合は「通所介護」「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」で継続就労者を上回っています。

「介護離職者・継続就労者別」×「サービス利用状況」（上位10位）



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、
 ②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

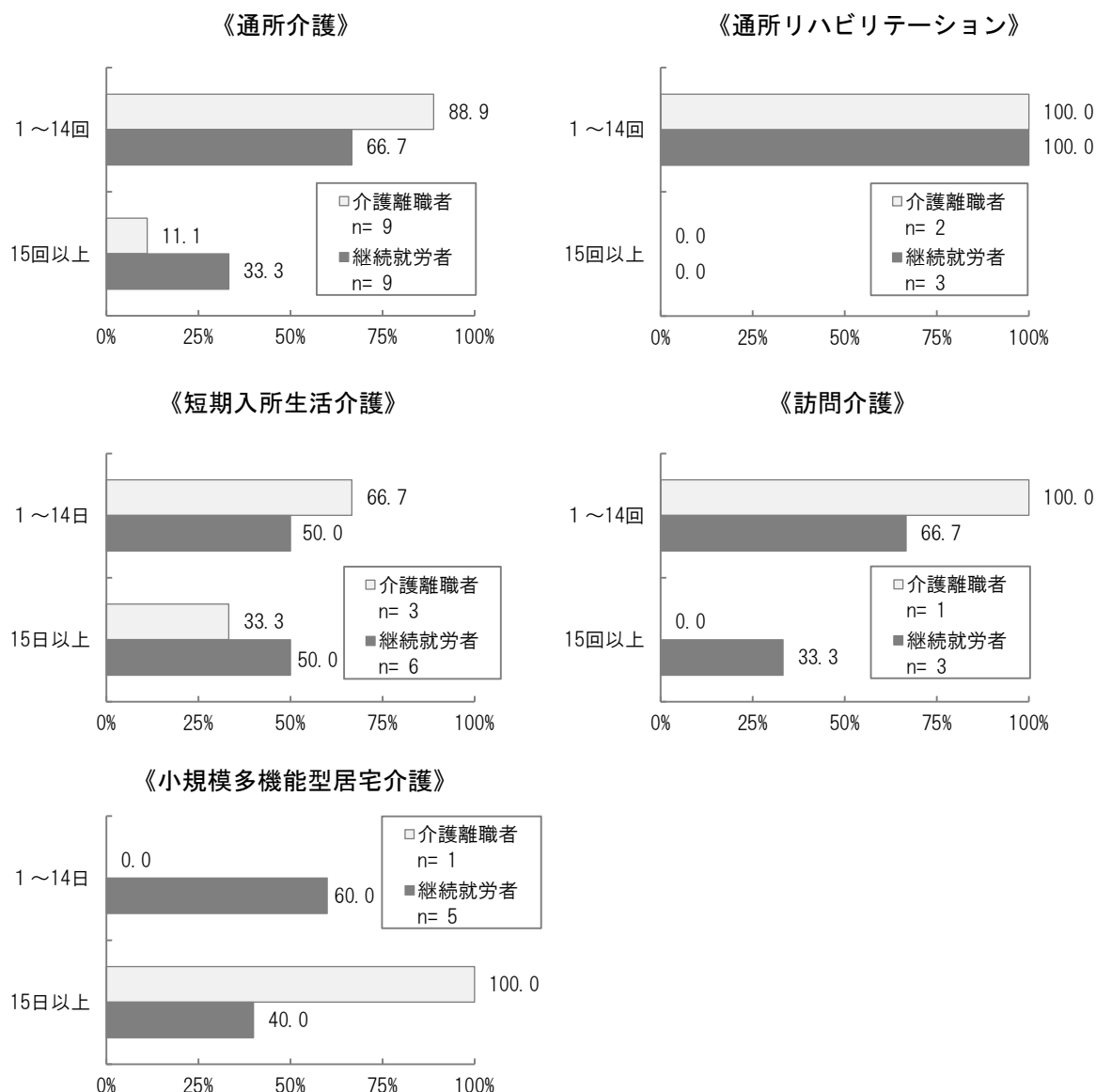
② 介護給付サービス別の実日数（利用割合の高いサービスのみ）

○利用割合の高い上位5位のサービスの利用実回数・実日数をみると、介護離職者は通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、訪問介護で「1～14回（日）」の利用が多くなっています。

○一方、継続就労者では通所介護、通所リハビリテーション、訪問介護、小規模多機能型居宅介護で「1～14回（日）」の利用が多くなっています。また、介護離職者の「15日以上」の利用では小規模多機能型居宅介護、継続就労者では短期入所生活介護で多くなっています。

○介護離職者と継続就労者との差をみると、通所介護を「1～14回」利用する方は介護離職者が継続就労者を22.2^{ポイント}上回っています。

「介護離職者・継続就労者別」×要介護者の「サービス利用日数」（利用割合上位5位）



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計